

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	人文科学概論(コミュニケーションを含む)	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	吉川 三恵子	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	医療面接の基本的技術について学びます。文学作品に親しみ、他者への共感を育むことについて学習します。	
到達目標	1 日常の言語活動(聞く・話す)を通して、コミュニケーション能力の向上を図れる。 2 文学への関心を寄せ、医療者としての感性豊かな自己形成を図れる。	
授業計画	前期計(16週)	前期計15時間
	1 オリエンテーション、医療面接及び医療者としてのあり方 2 医療面接とは (1) 医療面接と問診 (2) 生物心理社会モデルと医療面接 (3) 医療面接の役割 3 医療面接の実際 (1) 患者を迎える前の準備 (2) 患者を迎え入れる医療面接の導入 (3) 医療面接始め方と対話の実際 (4) 十問歌・簡易システムレビュー (5) 患者の解釈モデルの捉え方 4 文学に触れる 「金子みすゞ」他「赤い鳥運動」の詩人 5 前期学習のまとめ	1 1 1 1 1 1 1 2 2 3 1
	後期計(15週)	後期計15時間
	6 古典に触れる 「平家物語」 無常観について 7 面接に必要な態度と技法 8 医療面接とコミュニケーション (1) コミュニケーションの実際 (2) 言葉遣い (3) 身だしなみ・環境の整備 9 医療面接に求められる態度 10 医療面接の目的と構造 11 後期学習のまとめ	4 1 2 2 1 2 2 1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	筆記試験(前期・後期)と授業で課した課題提出を総合して評価します。	
履修上の留意点	中間試験は実施しません。	
自己学習の進め方	テキスト「医療面接」の内容に沿って重要な部分を取り上げていきますので、試験に向けて振り返り学習を心がけてください。文学に触れる授業では、印象に残った箇所を書き留めておいてください。	
使用教科書	改訂版 鍼灸臨床における医療面接、丹澤章八著、医道の日本社、2022年	
参考書/参考資料	必要に応じて配付します。	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	社会科学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	吉井 顕穂	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義(PC操作を含む)	
科目の概要 (授業科目の内容)	1 介護保険制度、社会福祉制度について学びます(4~6月)。 2 スクリーンリーダーソフトを組み込んだWindowsパソコンを使用し、エクセル、カルテ名人の操作について学びます(7月~令和5年2月)。	
到達目標	1 社会福祉制度の理念や仕組みを理解し説明できるようになる。 2 Windowsの基本操作を理解し、エクセル、カルテ名人等の応用ソフトの操作ができるようになる。	
授業計画	前期計(16週)	前期計15時間
	1 オリエンテーション 2 介護保険制度 3 社会福祉制度 (1) 社会福祉とは (2) 社会福祉の理念 (3) 社会福祉に係わる組織 4 障害者福祉 (1) 「障害」とは (2) 障害者福祉に関する法律 (3) 障害者総合支援法 5 情報実習オリエンテーション 6 パソコンの基本操作 (1) スクリーンリーダーの設定 (2) Windowsの基本操作 7 エクセルの基本操作 (1) ブック、シート、セル、行と列の概念、数式と値の入力 (2) 各種コピーの操作	0.5 1.5 1 1 1 2 1 1 0.5 0.5 1 2 2
	後期計(15週)	後期計15時間
	8 初歩的な関数の学習 (1) SUM関数、AVERAGE関数 (2) ROUND関数、関数のネスト (3) count、counta、countif関数 (4) if関数、vlookup関数 9 カルテ名人の操作 (1) メニュー画面と基本操作 (2) カルテの作成から印刷までの流れ (3) 再診カルテ課題の入力・登録と印刷 (4) 初診カルテ課題の入力・登録と印刷 (5) データの保存、検索 (6) 「今日の施術者」ファイルの閲覧・操作方法	1 1 1 1 1 1 1 3 3 2 1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(前期は筆記試験、後期は実技試験)の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	成績評価は期末一斉試験期間に実施し、中間試験は実施しません。	
自己学習の進め方	1 授業の前にテキストを読んで予習をしておいて下さい。 2 パソコンの学習では実施した課題の復習に取り組み定着を図ってください。また操作手順はできるだけ詳しくテキストに記載していますので熟読してください。	
使用教科書	教官作成のテキスト及び練習問題(墨字・点字・デジ版・データ版)を使用します。	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	自然科学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	桑崎 哲治	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	1 細胞に関する歴史と基本的概念を学びます。 2 原子の構造と化学結合の基本的概念を学びます。	
到達目標	理療教科における学習に必要な自然科学の基礎的な概念、原理、法則等を理解して説明又は記述できること。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計15時間
	1 オリエンテーション 2 細胞の化学的成分 (1) 元素 (2) 水 (3) 小有機分子 ①糖質、②脂質、③アミノ酸 ④ヌクレオチド DNA・RNA・ATP 3 細胞の構造と機能 (1) 核 ①核膜 ②核小体 ③染色質、④染色体 (2) 蛋白質の合成 ①転写 ②翻訳 ※前期のまとめ ※前期末試験講評	0.5 1 1 1 3 1 1 3 1 1 1 0.5
	後期計 (15週)	後期計15時間
	4 細胞質の微細構造 (1) ミトコンドリア (2) リボソーム (3) 小胞体 (4) ゴルジ装置 (5) リソソーム (6) 中心体 (7) 微小管 ※後期のまとめ ※後期末試験講評 (8) 細胞骨格 5 細胞分裂 体細胞分裂	2 1 2 1 2 1 1 1 1 0.5 1.5 2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則24に基づき、各学期末に行われる期末試験(筆記試験)の平均点(小数点第1位は切り捨て)を学年末評価とします。	
履修上の留意点	中間試験は実施しません。	
自己学習の進め方	講義は事前に配布する資料を用いて進めます。必ず資料を読んで、講義内容を把握して講義に臨んでください。 講義後は配付資料を精通して復習し、内容理解に努めてください。 自己学習しても理解できないところがあれば、次の講義までに質問してください。	
使用教科書	使用しません。章ごとに資料と図を配布します。	
参考書/参考資料	細胞の世界、ベッカー他著、村松正実他監訳、西村書店、2005年	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	保健体育	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	高木 富士男	
修得単位数	1単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	運動・スポーツにかかわる基本的な知識と技術について学びます。また体力測定を通して自身の身体状況を客観的に捉えることについて学びます。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 運動・スポーツを生涯にわたって継続していく重要性を理解して、実践することができる。 2 運動・スポーツ実践の基となる自身の体力の現状を客観的に把握できる。 	
授業計画	前期計(16週)	前期計15時間
	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 体力測定(筋力、柔軟性、敏捷性、筋持久力) 3 身体局所の動き(みんなの体操) 4 陸上競技(投擲) 5 ゴールボール 6 フライングディスク(ディスリート7、ディスタンス) 7 グランドソフトボール 8 テーピング(セルフ) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 1 2 2 3 2 3 1
授業計画	後期計(15週)	後期計15時間
	<ol style="list-style-type: none"> 9 みんなの体操(座位) 10 ブラインドテニス 11 フロアバレーボール 12 ボッチャ(ペア) 13 ストレッチ(動的) 14 ブラインドサッカー 15 ゲートボール 16 トレーニング(理論、実技) 17 体力測定(持久力) 18 ニュースポーツ 	<ol style="list-style-type: none"> 1 2 3 2 1 1 1 2 1 1
実務経験の有無 その活かし方	有 運動指導員 障がい者スポーツセンターでの運動・スポーツ指導経験を活かして、トレーニングやストレッチを紹介し、1年次履修科目に関連する知識の幅を広げます。	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも実技試験及び口頭試験)の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	中間試験は実施しません。天候により使用する体育施設を変更する場合があります。	
自己学習の進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1 テレビ体操やみんなの体操の放送時刻を把握し、「みんなの体操(立位・座位)」の動きを学習してください。 2 既習の内容については、体育的行事の活用や自己学習を含めて振り返り学習してください。 3 事前・事後の学習は欠かさないようにしてください。 	
使用教科書	なし。(必要に応じて資料等を配布します)	
参考書/参考資料	障がいのある人のスポーツ指導教本、日本障がい者スポーツ協会著、ぎょうせい、2020年 全国障害者スポーツ大会競技規則(解説付)、日本障がい者スポーツ協会著、日本障がい者スポーツ協会、2022年	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	生理学Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	米田 裕和	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	人体の各臓器・組織の生理作用について学びます。	
到達目標	あはき施術に必要な人体の機能と知識の習得ができる。 また、他の科目との関連について理解し、知識を応用できる。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計45時間
	1 オリエンテーション／排泄 2 内分泌 3 生殖・成長と老化 ※前期中間試験 ※前期中間試験講評 4 神経 ※前期期末試験 ※前期期末試験講評	6 9 8 1 1 19 1
授業計画	後期計 (15週)	後期計45時間
	4 神経 (続き) 5 筋 ※後期中間試験 ※後期中間試験講評 6 運動 7 感覚 ※後期期末試験 ※後期期末試験講評 7 感覚 8 生体の防御 9 身体活動の協調	7 9 1 1 7 4 1 8 4 3
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	6、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
自己学習の進め方	予習は必要ありません。復習をしっかりと行って下さい。その際は、ただ用語等を暗記するだけでなく、生理学的機序をしっかりと理解するようにして下さい。	
使用教科書	人体の構造と機能 生理学第3版、盲学校理療教科用図書編纂委員会、医歯薬出版、2022年	
参考書/参考資料	なし	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	病理学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	岩本 稔	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	疾病や症状の分類、原因、発生機序等を学びます。	
到達目標	国家試験合格及び施術者として必要な疾病に関する知識を身に付ける。	
授業計画	前期計(16週)	前期計30時間
	1 オリエンテーション(授業の進め方、評価方法等)	1
	2 第1編 病理学の意義、基礎	2
	3 第2編 病因 (1) 内因 (2) 外因(栄養異常、物理的・化学的・生物的病因作用等) ※前期中間試験 1 ※講評 1	10
4 第3編 病変 (1) 循環障害(充血、うっ血等) (2) 退行性病変(変性・萎縮・壊死等) ※前期期末試験 1 ※講評 1	14	
後期計(15週)	後期計30時間	
4 第3編 病変(続き)	5	
(3) 進行生病変(肥大・再生・移植等)	6	
(4) 炎症(炎症の概念、原因、炎症の経過と転帰等) ※後期中間試験 1 ※講評 1	8	
(5) 腫瘍(腫瘍の意義・形態・構造等)	6	
(6) 免疫異常(免疫の仕組み、免疫応答異常、免疫不全等)	2	
5 総復習 ※後期期末試験 1 ※講評 1	1	
実務経験の有無 その活かし方	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 病院、接骨院での実務経験を活かし、実際の臨床でも応用できる疾患のポイントを紹介 します。	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均点を学年末評価 とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
自己学習の進め方	教科書や配布資料を精読し内容の理解に努めてください。また履修済み科目の解剖学や 生理学等の内容についても振り返り知識の整理に努め、まとめのノートを作成するよう に心がけてください。	
使用教科書	疾病の成り立ちと予防Ⅱ(病理学概論)改訂第7、版 オリエンス研究会、岡山ライトハウ ス、2019年	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	臨床医学総論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	岩本 稔	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な西洋医学における診察法(医療面接及び身体診察)、臨床検査法、治療法の概要について学びます。	
到達目標	各種診察法や臨床検査法の意義、治療法の概要を説明できるとともに、得られた身体所見から疑われる疾病(疾患名)について診断推論できること。	
授業計画	前期計(16週)	前期計45時間
	1 診察法 (1) オリエンテーション/ 診察の概要 (2) 問診(医療面接) (3) 視診 (4) 打診 ※前期中間試験 ※講評 (5) 聴診 (6) 触診 (7) 測定法 (8) 生命徴候(バイタルサイン) ※後期期末試験 ※講評	2 4 10 4 1 1 4 10 4 4 1
	後期計(15週)	後期計45時間
	(9) 神経系の診察 (10) 運動機能検査 2 臨床検査法 (1) 一般検査 ※後期中間試験 ※講評 (2) 生化学的検査 (3) 生理学的検査および画像診断の概要 3 治療法 (1) 治療の意義と分類 (2) 薬物療法 (3) 食事療法 (4) 理学療法 (5) その他の療法 4 臨床心理 (1) 患者の心理 (2) カウンセリングの概要 ※後期期末試験 ※講評	6 6 10 1 1 4 4 2 2 2 2 2 1 1 1
実務経験の有無 その活かし方	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 病院、接骨院での実務経験を活かし、実際の臨床でも応用できる疾患のポイントを紹介 します。	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均点を学年末評価 とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
自己学習の進め方	教科書や配布資料を精読し内容の理解に努めてください。また履修済み科目の解剖学や 生理学等の内容についても振り返り知識の整理に努め、まとめのノートを作成するよう に心がけてください。	
使用教科書	生活と疾病Ⅱ、臨床医学総論第2版、日本理療科教員連盟教科書委員会編、東京点字出版所、 2019年	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	理療臨床医学各論(病態生理学を含む)	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	石川 健	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	各疾患の概念、病態生理、原因、症状、検査、治療、予後について学習します。	
到達目標	各疾患の主な特徴を理解し、概念や原因、症状、検査、治療法等について簡潔に説明できる。	
授業計画	前期計(16週)	前期計45時間
	1 オリエンテーション 2 運動器疾患 (1) 保存療法と手術療法 (2) 関節疾患 (3) 骨代謝疾患・骨腫瘍 (4) 筋・腱疾患 (5) 形態異常 (6) 脊椎疾患 (7) 脊髄損傷 (8) 外傷 (9) その他の整形外科疾患 ※前期中間試験	1 43 1
授業計画	後期計(15週)	後期計45時間
	3 神経疾患 (1) 脳血管疾患 (2) 感染性疾患および脱髄性疾患 (3) 脳・脊髄疾患 (4) 基底核変性疾患 (5) その他の変性疾患 (6) 認知症 (7) 筋疾患 (8) 運動ニューロン疾患 (9) 末梢神経疾患 (10) 神経痛 (11) 頭痛 4 一般外科 (1) 外傷総論 (2) ショック (3) 熱傷 5 麻酔科とペインクリニック (1) 麻酔科 (2) ペインクリニック 6 精神科疾患 (1) 精神科疾患の現代の分類 (2) 心身症 (3) 神経症 (4) 気分(感情)障害と統合失調症 (5) 摂食障害 (6) 心的外傷後ストレス障害(PTSD) (7) アルコール依存症 ※後期中間試験	30 4 4 6 1
実務経験の有無 その活かし方	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 鍼灸整骨院での実務経験を活かし、特に遭遇することの多い疾患については経験談を交えながら重点的に解説します。	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期・後期期末試験(何れも筆記試験)の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	1 各疾患の概念、病態生理、原因、症状、検査、治療、予後については、国家試験の出題頻度の高い疾患や主に理療臨床で遭遇することの多い疾患等に重点を置きながら解説します。 2 適宜、解剖学や生理学、臨床医学総論等の関連科目に留意しながら指導を行います。 3 6月と11月に形成的評価のため中間試験を行います。	
自己学習の進め方	解剖学や生理学といった人体の構造と機能に関する知識については、教科書等を用いて逐次復習し、授業で学習した知識のベースアップに努めてください。	
使用教科書	生活と疾病Ⅲ(臨床医学各論)上巻・下巻第5版、日本理療科教員連盟理療科用図書編纂委員会、日本ライトハウス、2022年	
参考書/参考資料	必要に応じて資料を配布します。	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	東洋医学概論Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	絹見 昭洋	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	はり師・きゅう師として必要な東洋医学の概念、病証論、診断法、東洋医学的治療について学びます。	
到達目標	東洋医学の基礎理論、病証論、診断法について理解し、東洋医学的治療について説明又は記述でき、更に治療に応用出来る。	
授業計画	前期計(16週)	前期計45時間
	1 オリエンテーション	1
	2 東洋医学の基礎理論 (1) 東洋医学の意義と特徴 (2) 陰陽五行	16
	3 東洋医学の生理観 (1) 五臓六腑 (2) 気血津液	16
4 経絡と経穴の概要	2	
5 東洋医学の疾病観・病因論 (1) 病因(三因・三毒説) (2) 八綱病証 (3) 気血津液病証 ※中間試験・講評	10	
		2
	後期計(15週)	後期計45時間
5 東洋医学の疾病観・病因論(続き) (4) 臓腑病証 (5) 経絡病証 (6) 六経病証	12	
6 診断法 (1) 四診 (2) 証決定	20	
7 治療 (1) 手技療法 (2) はりきゅう療法(補瀉・選穴・刺法) ※中間試験・講評	13	
		2
実務経験の有無 その活かし方	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 臨床で経験した所見・病態などを東洋医学的観点で紹介及び説明します。	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
自己学習の進め方	東洋医学概論は3年次で学習する東洋医学臨床論や臨床実習の治療に必要な基礎的知識として重要となります。難解な言葉や漢字については事前に読みを調べることにより学習がスムーズにすすみます。授業が終わったら必ずその内容を復習してください。東洋医学は自然界と人体の関わりを学習する科目です。普段から体調と気象気候の関わりを観察することなどが大切です。疑問はそのままにせず質問するようにしてください。	
使用教科書	基礎理療学Ⅰ(東洋医学概論)改訂第7版、オリエン研究会、岡山ライトハウス、2021年	
参考書/参考資料	必要に応じて資料を配布します。	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	経絡経穴概論Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	松本 元司	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	人体にある経穴の名称・部位、経絡流注(正経十四経、奇脈)、特定穴(五行穴、五腧穴・八会穴・四総穴・八脈交会穴)その他の穴位(気穴・古典配穴法)、体表解剖(各領域に属する経穴)について学びます。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 経絡の分類、十二経脈の流注の方向と接続部位の説明ができる。 2 体表解剖の標識線の理解と6関節にある基準経穴を取穴できる。 3 骨度法、手指同身寸を理解・運用して取穴ができる。 4 特定穴を理解し症状に応じた選別ができる。 5 筋肉、神経、動脈拍動部に相関する経穴を説明できる。 	
授業計画	前期計(16週)	前期計30時間
	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 奇経八脈 (1)衝脈 (2)帯脈 (3)陽蹻脈 (4)陰蹻脈 (5)陽維脈 (6)陰維脈 3 奇穴 (1)頭頸部 (2)胸腹部 (3)背腰部 (4)上肢部 (5)下肢部 4 よく使われる経穴の組み合わせ (1)六つ灸 (2)小児斜差の灸 (3)中風七穴 (4)脚気八処の穴 5 経絡・経穴の現代的研究 6 要穴 (1)原穴・郄穴・腧穴(背部腧穴) (2)四総穴 (3)八脈交会穴 (4)八会穴 (5)下合穴 7 奇脈(督脈・任脈)の走行・流注の概要、所属経穴の取穴法 (1)督脈 (2)任脈 	<p>1</p> <p>8</p> <p>7</p> <p>3</p> <p>2</p> <p>4</p> <p>5</p>
	後期計(15週)	後期計30時間
	<ol style="list-style-type: none"> 8 十二経脈の走行・流注の概要、所属経穴の取穴法 (1)手の太陰肺経 (2)手の陽明大腸経 (3)足の陽明胃経 (4)足の太陰脾経 (5)手の少陰心経 (6)手の太陽小腸経 (7)足の太陽膀胱経 (8)足の少陰腎経 (9)手の厥陰心包経 (10)手の少陽三焦経 (11)足の少陽胆経 (12)足の厥陰肝経 9 体表解剖(筋肉・神経・動脈拍動部)と相関する経穴 10 要穴の整理(復習) 	<p>20</p> <p>5</p> <p>5</p>
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	<p>理療教育実施細則に基づき、前期末と後期末に筆記試験を行い、その平均点で評価します。</p>	
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1 6月、11月に形成的評価のため筆記試験を行います。 2 模型や身体を使って取穴し、見えなくともわかりやすい授業になるよう工夫します。 	
自己学習の進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1 予習は、漢字の読み方や経穴部位の確認などを重点に行ってください。 2 復習は、習ったところをノートにまとめ、経穴部位の確認を行ってください。 	
使用教科書	<p>新版経絡経穴概論、日本理療科教員連盟・東洋療法学校協会編、医道の日本社、2018年</p>	
参考書/参考資料	<p>必要に応じて配布します。</p>	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧応用実習Ⅰ(臨床実習前試験等を含む)	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	石川 健	
修得単位数	4単位	
年間授業時数	124時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	1年次に習得した基礎的な技術をさらに習熟させるとともに、疾患別に応じた問診・診察・治療法など、施術者として必要な応用的な施術に関する内容について学びます。また、臨床実習前(前期中間・期末、後期中間・期末の各試験)に施術実技試験等を行うことにより、臨床で活用できる知識や技術が身についているかどうかを評価します。	
到達目標	60分を目安とした全身あん摩ができるようになる。疾患別に応じた問診・診察・治療の内容について理解し、実施できるようになる。	
授業計画	前期計(16週)	前期計62時間
	1 オリエンテーション、1年次の復習 2 部位別の施術 (1) 肩背部 (2) 上肢 (3) 頭頸部 (4) 腰殿部 (5) 下肢 3 肢位別の施術 (1) 側臥位 (2) 伏臥位 (3) 仰臥位 ※2と3は同時に行います。 ※前期中間・期末試験(講評、臨床実習前実技試験等を含む)	4 52 6
実務経験の有無 その活かし方	後期計(15週)	後期計62時間
	4 疾患別の施術 (1) 運動器系 ① 肩こり、頸肩腕症候群、② 腰下肢痛、③ 五十肩、 ④ 変形性関節症(膝関節症、股関節症)、⑤ 腱鞘炎、 ⑥ 捻挫の後遺症 ※授業の進行状況により、前期で上記の疾患を扱う場合があります。 5 スポーツ障害に対する総合施術 (1) アキレス腱断裂 (2) ジャンパー膝 (3) テニス肘 6 各種物療器具の取り扱い 7 模擬臨床実習 ※後期中間・期末試験(講評、臨床実習前実技試験等を含む) 有 あん摩マッサージ指圧師	42 8 2 4 6
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも実技試験)の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも実技試験)の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
自己学習の進め方	できるだけ早いうちに60分位で施術できる自分自身の術式を完成させて下さい。自分自身の型ができると臨床に出て緊張してもなんとか施術できるものです。授業以外の場でも施術の流れをイメージしておくことは大切です。同様に問診や診察においても授業の内容を軸に教科書等を見て自分自身の方法・手順を確立するようにして下さい。	
使用教科書	理療基礎実習第2版、東京都立文京盲学校理療科研究会著、日本ライトハウス、2019年	
参考書/参考資料	あん摩マッサージ指圧理論、東洋医学臨床論	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅう応用実習Ⅰ（臨床実習前試験等を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	米田 裕和	
修得単位数	4単位	
年間授業時数	124時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な施術に関する知識と技術を学習するとともに、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を身につけます。さらに臨床実習前試験を通して技術や態度等に関する臨床実習参加のための総合的評価を行います。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 施術者としての基本的態度、礼節を身につけること。 2 主要な症状・疾患に対して基本的身体診察が行えること。 3 主要な症状・疾患に対して安全かつ適切、効果的な鍼灸施術が行えること。 4 臨床実習に参加できる知識と技術を身につけること。 5 鍼灸に関わる過誤・副作用について対処できる。 	
授業計画	前期計（16週）	前期計62時間
	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション、基礎技術の確認 2 臨床入門 3 各種鍼療法の指導 (1) 小児鍼法 (2) 皮内鍼法 (円皮鍼) 4 症候別施術応用（日常遭遇しやすい症候への施術） 運動器系 (1) 肩こり、頸肩腕症候群 (2) 腰痛（坐骨神経痛を含む） (3) 五十肩 (4) 変形性関節症（膝関節症、股関節症） 	6 15 5 30
	※前期中間期、期末試験（講評、臨床実習前試験を含む）	6
	後期計（15週）	後期計62時間
	<ol style="list-style-type: none"> 4 症候別施術応用（日常遭遇しやすい症候への施術）（続き） (5) 腱鞘炎 (6) 捻挫の後遺症 (7) スポーツ障害に対する総合施術 ①アキレス腱断裂、②ジャンパー膝、③テニス肘 5 各疾患に対する特殊鍼法 (1) 頸肩腕部疾患 頸部交感神経幹近傍刺鍼（星状神経節刺鍼） (2) 坐骨神経痛 坐骨神経刺鍼 6 はり、きゅう施術に応用できる物理療法 (1) 温熱療法 (2) 光線療法 (3) 電気療法 (4) 灸頭鍼 (5) その他 7 模擬臨床実習 臨床前試験等により患者に対して施術を行うに足る総合的知識及び基本的技能・態度を備えていることが確認できた場合、2月中下旬を目処に模擬臨床実習を実施する。 	30 12 12 2
	※ 後期中間期・期末試験（講評、臨床実習前試験を含む）	6
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期末、後期末に各々1回、2時間ずつ計2回試験を行い、理療教育実施細則に基づき学年末評価を算出して成績評価とする。なお、中間期試験は形成的評価として実施する。	
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1 実技技能を身につける科目のため、健康管理は普段から心掛けましょう。 2 普段から身だしなみを整え、白衣等の清潔保持を心掛けましょう。 3 実習中は、鍼刺し事故等の過誤が生じないように、充分留意してください。 4 実習中は、教官の指示以外のことは行わないで下さい。 5 年間を通して、応用的施術法だけでなく、臨床実習に向けた一連の流れを身につけることを心掛けましょう。 6 各学期の中間期、期末試験を臨床実習前施術実技試験として、合わせて8時間実施します。 7 臨床実習参加に著しい課題があると実技担当者が判断した場合、必要に応じて他の理療科教官も評価に加わることがあります。 	
自己学習の進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1 この実習には、解剖学、臨床医学総論、理療臨床医学各論、経絡経穴概論の内容も含まれるため、事前に関連科目の内容を確認して下さい。特に診察に関連する解剖学的構造や疾患の概念、症状、徒手検査法の目的及び手順、経穴の取穴法について、予習をして実習に臨んで下さい。 2 この実技科目は繰り返し練習することが大切です。授業時間外に少なくとも週2回、各1時間程度のトレーニングをすることが望ましいです。その際は授業中に説明した注意事項を必ず守って下さい。 	
使用教科書	理療基礎実習第2版、東京都立文京盲学校理療科研究会著、日本ライトハウス、2019年	
参考書/参考資料	必要に応じて資料等を配布します。	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧応用実習Ⅱ（臨床実習前試験等を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	青柳 達也	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	64時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者としての心得・内科的症状（以下症状と記す）に対する診察法や施術法・リスク管理・衛生管理などについて学習します。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 症状に応じた診察法について説明及び記述できる。 2 症状に応じた施術方針について、説明及び記述できる。 3 症状に応じた施術法について説明及び実践できる。 4 施術者としての心得・リスク管理・衛生管理について、説明及び記述できる。 	
授業計画	前期計（16週）	前期計32時間
	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 医療面接 3 咳嗽・気管支喘息 4 循環器系（高血圧・うっ血・虚血） 5 消化器系（慢性胃炎・便秘・下痢） <p>※前期期末試験（臨床実習前実技試験・講評を含む）</p>	<p>1</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>9</p> <p>9</p> <p>2</p>
授業計画	後期計（15週）	後期計32時間
	<ol style="list-style-type: none"> 6 婦人科系（月経異常・更年期障害） 7 頭痛・眼精疲労 8 神経痛（三叉神経痛・肋間神経痛） 後期期末試験（臨床実習前実技試験・講評を含む） 9 模擬臨床に向けての全身施術 10 模擬臨床実習 	<p>8</p> <p>6</p> <p>6</p> <p>2</p> <p>8</p> <p>2</p>
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	<p>理療教育実施細則に基づき、前期期末試験・後期期末試験の平均点（小数点第1位切り下げ）を学年末評価とします。学年末評価が60点以上で単位修得となります。授業での衛生管理・態度なども評価の対象となります。</p>	
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1 前期中間・後期中間も実技試験を行います。 2 いかなる理由があっても15分以上遅れれば、欠席となります。 3 授業用の資料（墨字・点字・データ）は事前に配布します。 4 再評価は行いません。 	
自己学習の進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1 事前に資料は精読しておいてください。 2 わからない点があればそのままにせず、教官に質問する等してください。 	
使用教科書	理療基礎実習第2版、東京都立文京盲学校理療科研究会著、日本ライトハウス、2019年	
参考書/参考資料	あま指応用Ⅱ資料	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅう応用実習Ⅱ (臨床実習前試験等を含む)	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	天野 光二	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	<p>主要な内科的症状・疾患に対するはりきゅう施術に関する知識と技能について学びます。あわせて、臨床実習参加に必要な知識及び技術並びに態度について学び、臨床実習前試験を行います。</p>	
到達目標	<p>1 主要な症状・疾患に対して基本的身体診察が行える。 2 主要な症状・疾患に対して適切かつ効果的にはりきゅう施術を行える。 3 臨床実習に参加できる知識と技術や態度を身につけている。</p>	
授業計画	前期計 (16週)	前期計32時間
	<p>1 オリエンテーション、臨床入門①リスク・衛生管理 2 臨床入門② (医療面接基礎)、基礎的刺鍼手技の確認① 3 臨床入門③ (問診項目)、基礎的刺鍼手技の確認② 4 現行十七手技① 5 現行十七手技② 6 頭痛① 7 頭痛② (頭部への刺鍼応用) 8 特発性三叉神経痛① 9 臨床実習前施術実技試験 (前期中間評価) 10 特発性三叉神経痛② (顔面部への刺鍼応用) 11 消化器系① (便秘と下痢) 12 消化器系① (胃炎) 13 呼吸器系 (気管支喘息) 14 前期総復習 15 期末評価 (臨床実習前試験等を含む) 授業時間数に計上しない</p>	<p>2 2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2 2 5 —</p>
授業計画	後期計 (15週)	後期計32時間
	<p>16 健康医学分野 (経絡治療) 17 老年医学分野② (太極療法) 18 産業医学分野① (全身疲労と腰痛) 19 産業医学分野② (全身疲労とVDT症候群) 20 各分野の復習 21 臨床実習前施術実技試験 (後期中間評価) 22 婦人科系 (月経異常・更年期障害) 23 皮内鍼と円皮鍼 24 高血圧症 (血圧測定) 25 模擬臨床準備 (ロールプレイなど) 26 模擬臨床 27 期末評価 (臨床実習前試験等を含む) 授業時間数には計上しない</p>	<p>2 2 2 2 2 3 2 2 2 2 11 2 —</p>
実務経験の有無 その活かし方	<p>有 はり師、きゅう師 医療現場 (病院・施術所) でのはりきゅう師として臨床経験を活かして、実際に臨床の場で役に立つようにわかりやすく実技指導します。</p>	
成績評価の方法	<p>平常授業時は観察記録法により平常評価します。各学期末には実技試験を行い、平常評価と合わせて総括的評価とします。なお、理療教育実施細則に基づき、前期・後期末評価の平均点を本科目の学年末評価とします。臨床実習前施術実技試験については、平常評価と各学期の中間期及び期末期の実技試験の平均点で評価し、臨床実習参加の可否を判定します。</p>	
履修上の留意点	<p>自身の健康管理に留意するとともに、身体や白衣を清潔に保ちましょう。 鍼刺し、火傷等の過誤を起こさないように、集中して慎重に練習しましょう。 各学期に中間及び期末試験を、臨床実習前試験として8時間実施します。 実技試験では担当教官に加えて他の教官も参加することがあります。</p>	
自己学習の進め方	<p>予習は、教科書をよく読んでおいてください。復習は、事故や防災等に留意し、原則として実習室で行い、実習室以外では点火器具を使用しないこと。なお、授業時間以外の事故については自己責任になります。 ※「理療教育における施設や設備の利用等マニュアル (利用者向け)」第8章 授業時間以外に実技練習を行うときの注意事項参照</p>	
使用教科書	理療基礎実習第2版、東京都立文京盲学校理療科研究会著、日本ライトハウス、2019年	
参考書/参考資料	資料は必要に応じて配布します。	